

## 公開質問状回答

森田 卓也

質問1 あなたの政策について教えてください。

私は、「宗像の魅力を創造し、誇りを持てるまちへ」を掲げ、以下の政策について推進します。

1. 宗像はもっと暮らしやすくなる！

都市再生事業の推進及び交通インフラの整備

(1) 宗像縦貫道の建設

九州自動車道の若宮 IC 周辺と名残・徳重の周辺地の間に、「自動車専用道路」建設を調査・研究する。

(2) 国道3号線拡幅事業の推進

国道3号線の3車線化で交通渋滞を改善

2. 世界遺産はもっと発信できる！

宗像大社を核に産業の活性化を！

(1) 宗像大社周辺の賑わい創り

3. 地域社会を次世代につなぐ！

持続可能なコミュニティ施策を

(1) 空き家や空き地を活用した交流の場の創造

(2) 防災機能を備えた集会所の設置

(3) 自治会の担い手確保

4. 現場に飛び出す新市長を！

対話と挑戦でつくる新時代のむなかた

(1) 市民との対話を重視します

(2) 市民や市役所職員の挑戦は応援、何度でもトライ！

(3) 市民の意見を反映した洪水・浸水対策を全力で推進！

質問2 質問1の中で、特に取り組みたいことは何ですか。

私は市民の皆さんとの対話を重視し、市民の声を市政にしっかりと反映させたいと考えております。また、これまでの価値観や概念にとらわれることなく、時代や市民ニーズを先取りした改革を進めるため果敢に挑戦して参ります。

質問3 宗像市でも高齢化が進んでいますが、介護が必要になっても自宅で暮らしている人の方が多くいます。そのためには何が必要だと考えていますか。

本市でも高齢化が進んでいます。高齢になっても、介護が必要になっても、住み慣れた自宅で、その人らしく安心して暮らしたいと多くの方が願っていると思います。このため、介護保険の在宅サービスの充実と介護者の肉体的・精神的な負担の軽減が必要と考え、私は、

- ・本市の課題として、介護ヘルパーの確保と、訪問介護事業所の安定した経営を支援することが必要と考えており、これらの支援策を実施する。
- ・地域包括支援センターや相談窓口、ボランティア団体などの利用を案内し、介護者の心身の健康を図る。

質問4 ファミリー・サポート・センターが福岡都市圏では唯一、宗像市にはありません。子育て世帯からは設置を望む声を聞きますが、どのように考えていますか。

本市の子育て世代の就業率は上昇しており、仕事と育児を両立しやすい環境を整えることが必要であると考えます。ファミリーサポートセンターは、地域の中で安心して子育てができる取組のひとつであると考えています。このため、私は、ファミリーサポートセンターの設置を前向きに進めたいと考えています。

質問5 不登校の児童生徒が増えています。「エール」や「ホープ」が設置されていますが、利用している子どもは一部です。すべての子どもに教育を保障するためにどのような取り組みを考えていますか。

本市では、不登校児童生徒数は増加しています。すべての子どもに教育を保証するためには、不登校の子どもを支えて見守っていらっしゃる保護者に寄り添う支援を行うとともに、学校の教室とは別に落ち着ける場所があることが大変効果的と考えます。このため、私は、

- ・家庭支援を強化し、保護者向け相談会を定期的実施し保護者の不安軽減や情報共有をするとともに、家庭訪問を通じた継続的な支援を行い、家庭と施設との連携を強化する。
- ・地域との連携をさらに強化し、地域住民との交流を通じて子どもたちの居場所を地域全体で支える活動を積極的に支援する。
- ・一人ひとりの個性に合わせた環境を整備し、オンライン学習や市内フリースクールへの参加(登校認定)など多様な学習機会を確保する。

質問6 中学校の部活動が地域展開(移行)されていますが、どのように考えていますか。

本市では令和9年9月までに地域クラブ活動への移行を完全実施し、これまでの部活動を廃止することとしています。令和5年9月から学校部活動の休養日を段階的に増やし、部活動の受け皿となる地域クラブの立ち上げを支援してきたが、その受け皿は質量ともにまだ十分と言えず、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続的に親しめる受皿づくりが喫緊の課題と認識しています。また、保護者からは、新たな出費や保護者の負担に対しての不安があるとの声を聞いています。このため、私は、

- ・中学生スポーツ・文化芸術活動推進機構(仮称)を設置し、地域クラブ立ち上げ支援、指導者の認定・確保、活動場所の調整などを一元的に行う。
- ・身近な地域での地域クラブの立ち上げ支援を強化し、移動の負担軽減に努める。
- ・部活動を身近に実施できるよう放課後に学校施設を利用した放課後クラブを実施する。
- ・すべての中学生のスポーツ・文化芸術活動の公平な支援について検討する。

質問7 学校給食の食材の地産地消を進めることや、オーガニック化についてどのように考えていますか。

本市の学校給食は、地元産品等の積極的な導入をはじめとして、特徴ある取り組みをしている。私は、子どもたちにとって魅力ある学校給食を提供することは、まちの魅力にもつながることから、食材の地産地消やオーガニック化については、課題はあるものの関係者と協力しながら進めていきたいと考えています。